

「令和3年 水産加工統計調査」正誤表

調査結果の概要

誤

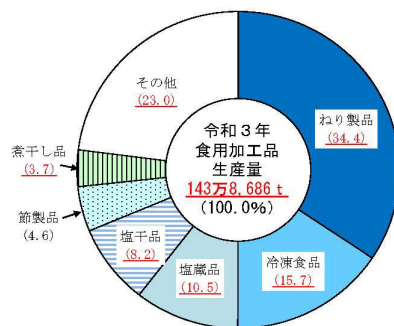
【調査結果の概要】

令和3年の食用加工品の生産量（焼・味付のりを除く。以下同じ。）は 143万8,686 t で、前年並みとなった。

主な加工種別^(注1)にみると、ねり製品は 49万4,691 t、煮干し品は5万3,632 tで、前年に比べそれぞれ 5%、2%増加し、冷凍食品は22万5,349 t、塩蔵品は15万782 t、塩干品は11万7,757 t、節製品は6万6,005 tで、前年に比べそれぞれ 2%、4%、2%、8%減少した。

生鮮冷凍水産物の生産量は111万308 tで、前年並みとなった。

図1 食用加工品生産量の主要加工種別構成割合（全国）



注：表示単位を四捨五入しているため計と内訳が一致しない場合がある（以下同じ。）。

表1 主要加工種別食用加工品及び生鮮冷凍水産物の生産量（全国）

区 分	単位	令和2年	3	対前年差	対前年比
食 用 加 工 品	t	1,436,880	<u>1,438,686</u>	<u>1,806</u>	<u>100</u>
うちねり製品	〃	473,292	<u>494,691</u>	<u>21,399</u>	<u>105</u>
冷 凍 食 品	〃	229,581	225,349	△ 4,232	98
塩 蔵 品	〃	156,386	150,782	△ 5,604	96
塩 干 品	〃	120,775	117,757	△ 3,018	98
節 製 品	〃	71,801	66,005	△ 5,796	92
煮 干 し 品	〃	52,817	53,632	815	102
焼・味付のり	千枚	6,013,442	5,973,749	△ 39,693	99
生 鮮 冷 凍 水 産 物	t	1,111,074	1,110,308	△ 766	100

注：1 加工種別とは、製造方法や保存方法により水産加工品を分類したものである。
 なお、水産加工品とは、水産動植物を主原料（原料割合で50%以上）として製造された、食用加工品及び生鮮冷凍水産物をいう。
 2 食用加工品の「計」には焼・味付のりは含まれていない。
 3 主産県を対象に調査を実施している。

正

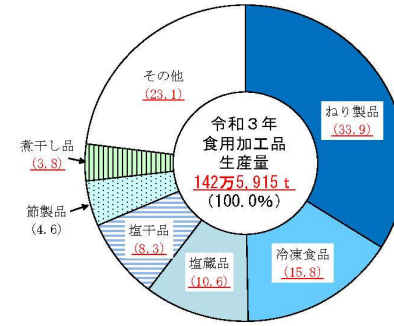
【調査結果の概要】

令和3年の食用加工品の生産量（焼・味付のりを除く。以下同じ。）は 142万5,915 t で、前年に比べ1%減少した。

主な加工種別^(注1)にみると、ねり製品は 48万3,686 t、煮干し品は5万3,632 tで、前年に比べそれぞれ 2%増加し、冷凍食品は22万5,349 t、塩蔵品は15万782 t、塩干品は11万7,757 t、節製品は6万6,005 tで、前年に比べそれぞれ 2%、4%、2%、8%減少した。

生鮮冷凍水産物の生産量は111万308 tで、前年並みとなった。

図1 食用加工品生産量の主要加工種別構成割合（全国）



注：表示単位を四捨五入しているため計と内訳が一致しない場合がある（以下同じ。）。

表1 主要加工種別食用加工品及び生鮮冷凍水産物の生産量（全国）

区 分	単位	令和2年	3	対前年差	対前年比
食 用 加 工 品	t	1,436,880	<u>1,425,915</u>	<u>△ 10,965</u>	<u>99</u>
うちねり製品	〃	473,292	<u>483,686</u>	<u>10,394</u>	<u>102</u>
冷 凍 食 品	〃	229,581	225,349	△ 4,232	98
塩 蔵 品	〃	156,386	150,782	△ 5,604	96
塩 干 品	〃	120,775	117,757	△ 3,018	98
節 製 品	〃	71,801	66,005	△ 5,796	92
煮 干 し 品	〃	52,817	53,632	815	102
焼・味付のり	千枚	6,013,442	5,973,749	△ 39,693	99
生 鮮 冷 凍 水 産 物	t	1,111,074	1,110,308	△ 766	100

注：1 加工種別とは、製造方法や保存方法により水産加工品を分類したものである。
 なお、水産加工品とは、水産動植物を主原料（原料割合で50%以上）として製造された、食用加工品及び生鮮冷凍水産物をいう。
 2 食用加工品の「計」には焼・味付のりは含まれていない。
 3 主産県を対象に調査を実施している。

【調査結果】

1 食用加工品の主な品目別生産量

(1) ねり製品

ねり製品の生産量は49万4,691 tで、前年に比べ5 %増加した。

品目別にみると、かまぼこ類は43万3,487 tで、前年に比べ6 %増加し、魚肉ハム・ソーセージ類は6万1,204 tで、前年に比べ2 %減少した。

図2 ねり製品生産量の品目別構成割合（全国）

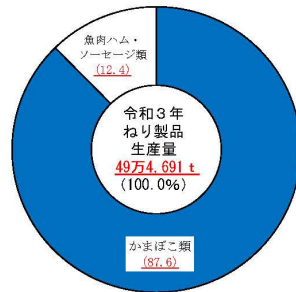


表2 ねり製品の品目別生産量（全国）

区 分	令和2年	3	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
ね り 製 品	473,292	494,691	21,399	105
か ま ぼ こ 類	410,526	433,487	22,961	106
魚 肉 ハ ム ・ ソ ー セ ー ジ 類	62,766	61,204	△ 1,562	98

(2) 冷凍食品

冷凍食品の生産量は22万5,349 tで、前年に比べ2 %減少した。

品目別にみると、魚介類（切り身、むきえび等の加工品）は12万5,727 t、水産物調理食品は9万9,622 tで、前年に比べそれぞれ1 %、3 %減少した。

図3 冷凍食品生産量の品目別構成割合（全国）

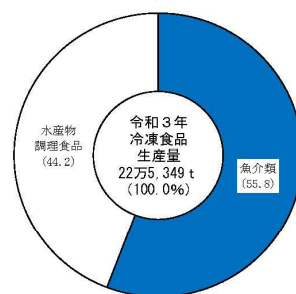


表3 冷凍食品の品目別生産量（全国）

区 分	令和2年	3	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
冷 凍 食 品	229,581	225,349	△ 4,232	98
魚 介 類	126,538	125,727	△ 811	99
水 産 物 調 理 食 品	103,043	99,622	△ 3,421	97

【調査結果】

1 食用加工品の主な品目別生産量

(1) ねり製品

ねり製品の生産量は48万3,686 tで、前年に比べ2 %増加した。

品目別にみると、かまぼこ類は42万2,482 tで、前年に比べ3 %増加し、魚肉ハム・ソーセージ類は6万1,204 tで、前年に比べ2 %減少した。

図2 ねり製品生産量の品目別構成割合（全国）

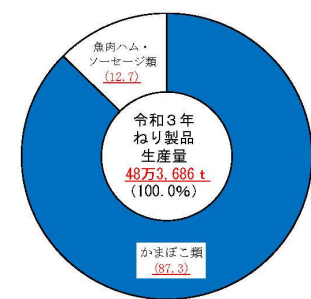


表2 ねり製品の品目別生産量（全国）

区 分	令和2年	3	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
ね り 製 品	473,292	483,686	10,394	102
か ま ぼ こ 類	410,526	422,482	11,956	103
魚 肉 ハ ム ・ ソ ー セ ー ジ 類	62,766	61,204	△ 1,562	98

(2) 冷凍食品

冷凍食品の生産量は22万5,349 tで、前年に比べ2 %減少した。

品目別にみると、魚介類（切り身、むきえび等の加工品）は12万5,727 t、水産物調理食品は9万9,622 tで、前年に比べそれぞれ1 %、3 %減少した。

図3 冷凍食品生産量の品目別構成割合（全国）

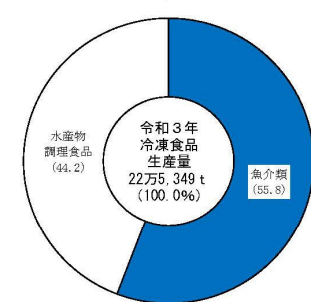


表3 冷凍食品の品目別生産量（全国）

区 分	令和2年	3	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
冷 凍 食 品	229,581	225,349	△ 4,232	98
魚 介 類	126,538	125,727	△ 811	99
水 産 物 調 理 食 品	103,043	99,622	△ 3,421	97

「令和３年 水産加工統計調査」正誤表

統計表

表番号	表題	表側	表頭	誤	正
1－1	水産加工品の加工種類別品目別生産量（全国） 食用加工品	食用加工品	3 対前年差 対前年比	1,438,686 1,806 100	1,425,915 △ 10,965 99
		ねり製品	3 対前年差 対前年比	494,691 21,399 105	483,686 10,394 102
		かまぼこ類	3 対前年差 対前年比	433,487 22,961 106	422,482 11,956 103
		その他の食用加工品	3 対前年差 対前年比	318,811 △ 36 100	317,045 △ 1,802 99
		乾燥・焙焼・揚げ加工品 （いか製品）	3 対前年差 対前年比	14,915 506 104	13,149 △ 1,260 91
2－1	水産加工品の加工種類別品目別生産量（都道府県別）（令和３年） 食用加工品	全国	ねり製品 計 ねり製品 かまぼこ類 その他の食用加工品 計 乾燥・焙焼・揚げ加工品（いか製品）	494,691 433,487 318,811 14,915	483,686 422,482 317,045 13,149
		北海道	その他の食用加工品 計 乾燥・焙焼・揚げ加工品（いか製品）	45,562 5,994	44,106 4,538
		新潟県	ねり製品 かまぼこ類	38,476	37,754
		兵庫県	ねり製品 かまぼこ類	53,176	45,291